

胆汁酸12分画

研究検査

2021年3月現在

検査概要

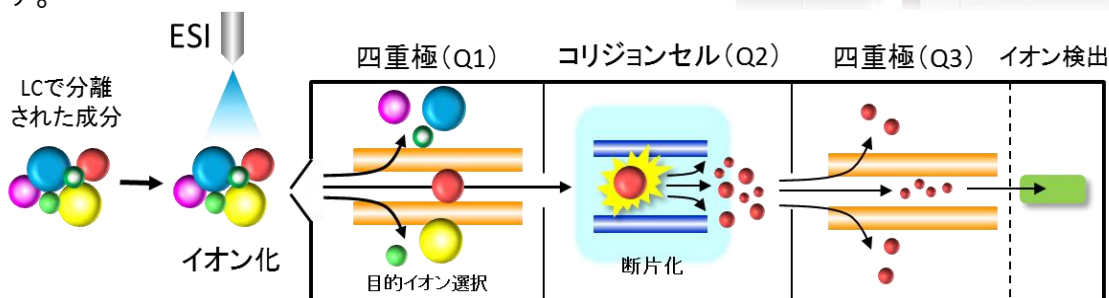
検査法	質量分析（LC-MS/MS）
検査項目	胆汁酸12分画（げっ歯類 14分画）
材料	血漿、血清、肝臓（その他、組織はご相談ください。）
必要量	血漿、血清：500 μ L、肝臓：100～300 mg
保存方法	血漿、血清：採血後、ただちに遠心分離し、上清をマイクロチューブに移した後、 -80℃にて保存 肝臓：当社指定のチューブに入れ、秤量後-80℃にて保存
最低出検数	30検体以上
納期	検体受領後1ヶ月以内

使用機器について

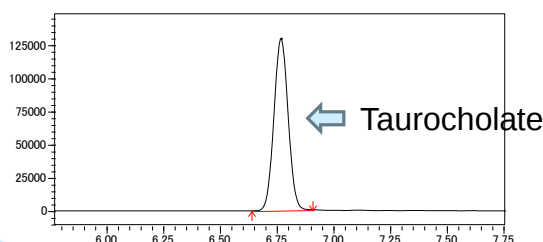
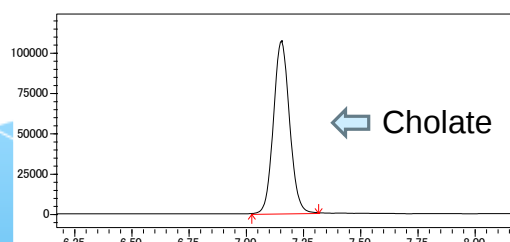
当社では、トリプルQ型質量分析装置を用いたMRM (Multiple. Reaction Monitoring)による定量分析を行っています。

Q1で目的のプレカーシオンを選択し、続くコリジョンセルで不活性化ガスと衝突させ断片化します。さらにQ3でプロダクトイオンを選択することにより、高選択性・高感度の定量分析が可能になります。

検査装置：島津製作所製
トリプルQ型質量分析装置
8050



ヒト血清中胆汁酸クロマトグラム



胆汁酸とは

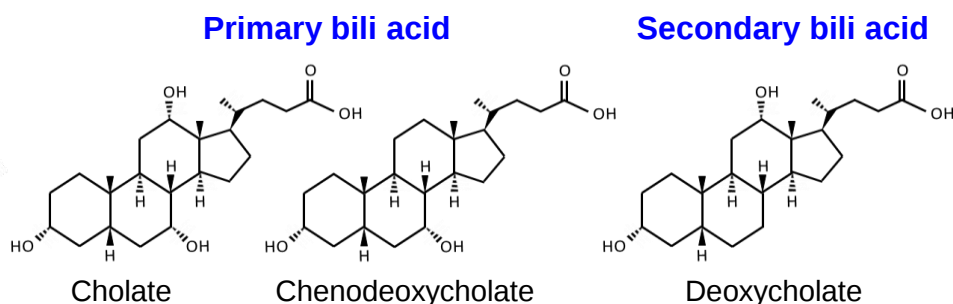
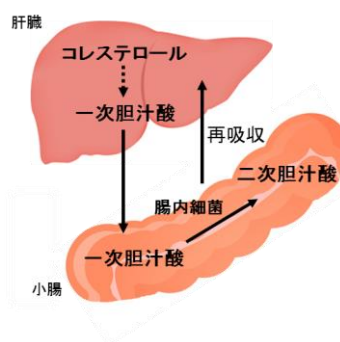
臨床的意義（測定意義）

胆汁酸は哺乳類胆汁に広範に認められるステロイド誘導体で、主に消化管内で食物脂肪とミセルの形成を促進し、吸収を促進する働きがあります。

肝臓で生合成されたものを一次胆汁酸といい、腸管で微生物による変換を受けたものを二次胆汁酸と言います。また胆汁酸はグリシンやタウリンと結び付いて抱合胆汁酸を形成します。

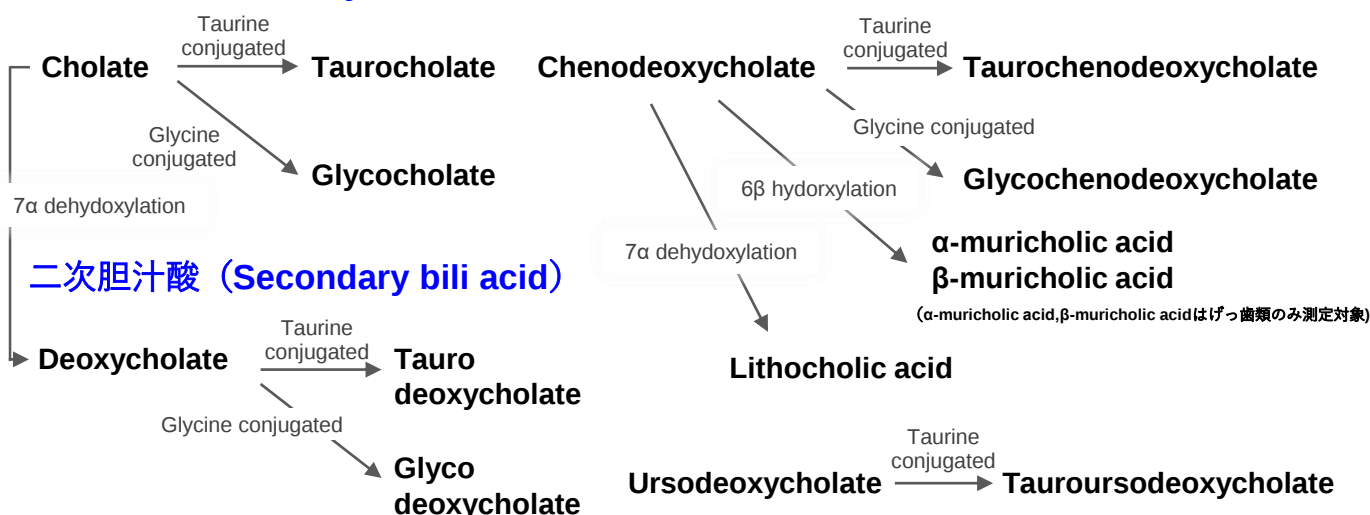
ヒトでは一次胆汁酸であるコール酸（80%）、ケノデオキシコール酸（2%）、二次胆汁酸であるデオキシコール酸（15%）が代表的です。

胆汁酸は肝臓の疾病によって血液中に放出されるため、肝臓病の検査に用いられることがあります。また、胆汁酸はコレステロールからの代謝物であることから、肝疾患だけでなく様々な疾患のマーカーとなり得る可能性が考えられております。



測定対象物質

一次胆汁酸（Primary bili acid）



お問い合わせ



KPSL
九州プロサーチLLP

〒819-0388
福岡県福岡市西区九大新町4-1
九州プロサーチ有限責任事業組合
<https://kpsl.jp/>